

市政に対する一般質問

六月議会では、個人質問を行いました。
六月二十九日(月)から七月二日(木)の
四日間にわたって、二十一人の議員が
質問をしました。掲載の質疑は議員が
作成をし、議員の責任で掲載しています。
写真については、自席で再質問を行っているところです。



当局と議会のあり方について

市民と歩む会 河本英敏



質問↓多くの先輩から議会と当局は、車の両輪と聞かされてきた。この車の両輪という言葉についての市長の考えをお聞きたい。

答弁↓市議会と私も当局は、車の両輪として、市民福祉の向上と市政発展に向けて協力することは、私の思いと同じ、議会と当局が互いの権限を尊重し、一定の緊張感を保ち円滑な関係を構築できるよう不断の努力を惜しまぬ所存である。

質問↓前回の市議会だよりに掲載した「街宣車が来た」の内容に抗議があった。「なぜ、政治団体が誰が目的は、何であれ、この行為は、市民に不安を与える卑劣な行為」と書き、卑劣なという言葉に対して抗議があり、ご指摘はありがたく、しっかりと受け止め、今後に活かしたい。

これまでの住民自治協議会の動きは

津山新星会議 倉持照憲



質問↓正社員のリストラなど雇用調整はどうなっているのか。住民自治協議会の動きは。公募提案型協働事業の進捗状況は。

答弁↓四月に入り、雇用調整のピークは越えたように思うが、景気は以前と同様に厳しい。住民自治協議会は現在、五つのモデル地区で行政やNPO支援センターなどと協働で地域の振興策を進めている。阿波地域では特産品開発やお宝マップに取り組み、広島西では広島仙ふれあい登山を実施。新加茂、上加茂、大井西、広島西で集落の現状に関するアンケート調査を行うなどしている。公募提案型協働事業は事前説明会に十四団体、二十三人の参加があった。現在、申請受付中で、問い合わせの多さなどに手ごたえを感じている。

緊急経済・雇用対策事業の効果が見えない？

高橋 誠



在、事業完了又は、着手が事業費ベ－スで四十％となっている。緊急雇用事業で五事業三十五人、雇用再生で九事業十二人の雇用創出だが引き続き努力する。

質問↓地元企業対策事業として出雲街道の側溝整備やインフラ整備、エコポイント制度への支援等経済活性化策は。

答弁↓現在、城東地区の無電柱化に合わせ側溝整備、カラー舗装工事を予定しており、残り区間については、関係町内会と協議し、実態調査等研究したい。作州津山商工会の共通商品券など民間のエコポイントの活用を応援し、地域消費の拡大に取り組む。

質問↓一連の予算編成での経済効果が全く見えない。基本施政と執行状況は。
答弁↓将来負担の軽減と緊急性を重視した補正事業の執行率は六月二十三日現